

琉球大学医学部附属病院 がんセンターの紹介

琉球大学医学部附属病院がんセンター 増田 昌人



平成19年4月1日にがん対策基本法が施行されました。当院では、その理念・施策を達成するために、同年9月18日にがんセンターを開設致しました。(http://www.ryukyucc.jp)

さらに、本年2月8日付で、当院は都道府県がん連携拠点病院の承認を受けました。

今回は、当院がんセンターの現在の業務内容の紹介をいたします。

1 外来部門の運営

(1) 緩和ケア／がん性疼痛外来 (火・木)

(2) 緩和ケア／心理ケア外来 (火・木)

を開設しました。

2 外来化学療法室の運営

現在は8床で、100～120名／月の化学療法を行っています。

毎週金曜日朝の外来化学療法室カンファランスにより、利用している全科医師と薬剤師、看護師が、患者全員に関わっています。

3 緩和ケア室の運営

従来からの緩和ケアチームをがんセンター所属とし、今まで以上に多くの患者に緩和ケアを提供していく予定です。

さらに、外来部門と連携して、(1) 初期段階からの提供、(2) 外来での継続提供、(3) かかりつけ医との共同診療を開始し、充実させていく予定です。

4 院内がん登録兼拠点病院データ解析室の運営

診療情報管理士と事務職員により、より精度の高い院内がん登録を行っています。さらに、今後は沖縄県内の院内がん登録データの分析、評価等も行う予定です。

5 化学療法レジメン登録・審査・管理室の運営

原則的には、当院はレジメン登録後に化学療

法を行うシステムとなっています。3月からは、登録済みレジメンを診療科・臓器横断的に、かつEBM重視 (NCI PDQ、ASCO、NCCN、国内学会ガイドライン等を参考) の審査を行い、EBMに基づくがん医療を側面から助けていく予定です。

6 がん相談支援室の運営

がん対策基本法に基づき、

(1) 各がんの病態、標準的治療法等がん診療に係る一般的な医療情報の提供

(2) 地域の医療機関や医療従事者に関する情報の収集、紹介

(i) 医療機関の診療機能、入院・外来の待ち時間、訪問看護を提供した患者数等

(ii) 医療従事者の専門とする分野、経歴、発表論文、医師あたり紹介患者数等

(3) セカンドオピニオンの提示が可能な医師の紹介

(4) 患者の療養上の相談

(5) 患者、地域の医療機関、かかりつけ医 (特に紹介元・紹介先の医師) 等を対象とした意識調査

(6) 各地域におけるかかりつけ医等各医療機関との連携事例に関する情報の収集紹介

(7) アスベストによる肺がん及び中皮腫に関する医療相談

(8) その他、相談支援に関することを行う予定です。

7 沖縄県がん診療連携協議会 (本年4月に設置予定)

がん対策基本法に基づき、

(1) 主に地域がん診療連携拠点病院で専門的ながん医療を行う医師・薬剤師・看護師等を対

象とした研修を実施する

- (2) 地域がん診療連携拠点病院等に対し、情報提供、症例相談や診療支援を行う
 - (3) 地域におけるがん診療連携体制等がん医療に関する情報交換を行う
 - (4) 都道府県内の院内がん登録データの分析、評価等を行う
 - (5) 都道府県レベルの研修計画、診療支援医師の派遣調整を行う
 - (6) 地域連携クリティカルパスの整備を行う
- 予定です。

8 九州がんプロフェッショナル養成プランへの対応

がん対策基本法に則り、がん医療に関する専門的な知識及び技能を有する医師及びその他の医療従事者を養成し、九州地区における質の高いがん医療の均てん化を図るプランです (<http://www.ganpro.med.kyushu-u.ac.jp/>)。

- (1) インテンシブコースへの対応
 - (i) 臨床腫瘍医養成インテンシブコース
 - (ii) がん治療医養成インテンシブコース
- 基本学会の認定医または専門医を持つ医師を、1年のコースでがん薬物療法専門医試験等が受験できる実力をつけるプランです。外来化

学療法室を3か月、第二内科血液・腫瘍グループを3か月、残り2診療科を3か月ずつローテーションする予定です。その間に、講義、臨床指導、レポート（+症例報告）作成、試験、E-ラーニングによる教育を行います。

(2) E-ラーニングへの対応

コンテンツ作成（講義のビデオ撮影・編集等）を行っていく予定です。

以上が、現在行っている業務内容です。

また、将来的には、

- A 無菌室及び緩和ケア病室を含むがんセンター病棟部門の新設を検討していく
 - B がんセンター臨床研究部門の新設を検討していく
- 予定です。

紙面の都合上詳細は書きませんでした。上述の業務に関しては、各診療科をはじめとする既存の各部署との連携を今まで以上に行っていくことになります。今後はこのがんセンターは連携体制の中核として、琉球大学医学部附属病院のがん対策の中心を担っていきます。

今後の沖縄県医師会会員の諸先生のご理解とご指導をよろしくお願いいたします。

図 がんセンター組織図

